

「衝動買い」ならぬ「衝動食い」?! 外食での予定外出費を調査!

**過去1年で「予定外にお金をかけてしまった外食」経験ありは64%
きっかけは、男性「お酒で盛り上がり」、女性「希少なメニュー」
影響では「気分が晴れた、やる気が出た」が最多**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、予定外にお金をかけてしまった外食についてのアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

<要約>**POINT① 外食での「予定外の出費」は男性より女性で多く65%・・・P3-4**

- 全体では過去1年に63.5%が「予定外にお金をかけてしまった」経験あり。女性計では65.2%と男性計61.7%より多い結果。
- 男性に多いきっかけは、「相手と盛り上がり」「お酒で気分が盛り上がり」。女性では「季節物、限定品など希少なメニューがあり」。

POINT② 予定外出費の内容、トップは「注文数が増えた」**続いて「季節メニュー・限定メニューを注文」「酒の量が増えた」・・・P5**

- 外食で予定外にお金をかけてしまった内容では、1位は「注文する料理の数」（45.6%）、2位は「季節メニュー・限定メニュー」（36.8%）、3位は「お酒の量」（28.0%）。
- 「二軒以上のはしご」（11.0%）や「帰路にタクシーや運転代行」（4.1%）は意外と少数派。

POINT③ 外食で予定外の出費をした影響はプラス影響とマイナス影響が拮抗**・・・P6-7**

- プラス影響は「気分が晴れた、やる気が出た」（42.3%）、マイナス影響は「お金を使いすぎたことに対する罪悪感」（40.8%）が最多。
- 若年層ほどプラス影響・マイナス影響ともスコアが大きく、シニア層ほどスコアが小さくなっており、世代間の受け止め方の差が大きい。
- 60代女性は過半数が「マイナス影響なし」と回答。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2016年11月分)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食のきっかけや頻度、費用が高くなった要因、外食による影響などを聴取。
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2016年10月21日(金)~2016年10月31日(月)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 317,834 件
- ⑥回収数 35,941 件
- ⑦本調査対象者数 16,127 件

- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付をおこなって回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セル について、平成26年人口推計(総務省)に基づき割付をおこなった。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

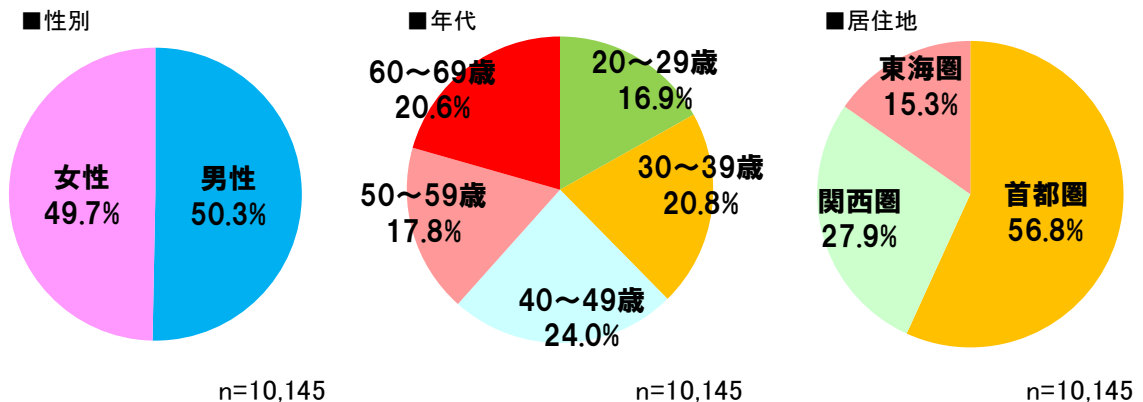
■本調査

- ①調査方法 ・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2016年12月1日(木)~2016年12月7日(水)
- ③配信数 13,589 件
- ④回収数 10,252 件 (回収率 75.4 %)
- ⑤有効回答数 10,145 件 (首都圏 5,155 件、関西圏 2,667 件、東海圏 2,323 件)

※回収された票のうち、自由回答コメントから、主旨に合わないと判断された票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成26年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 10,145 件(首都圏: 5,764 件、関西圏: 2,828 件、東海圏: 1,553 件)

◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)

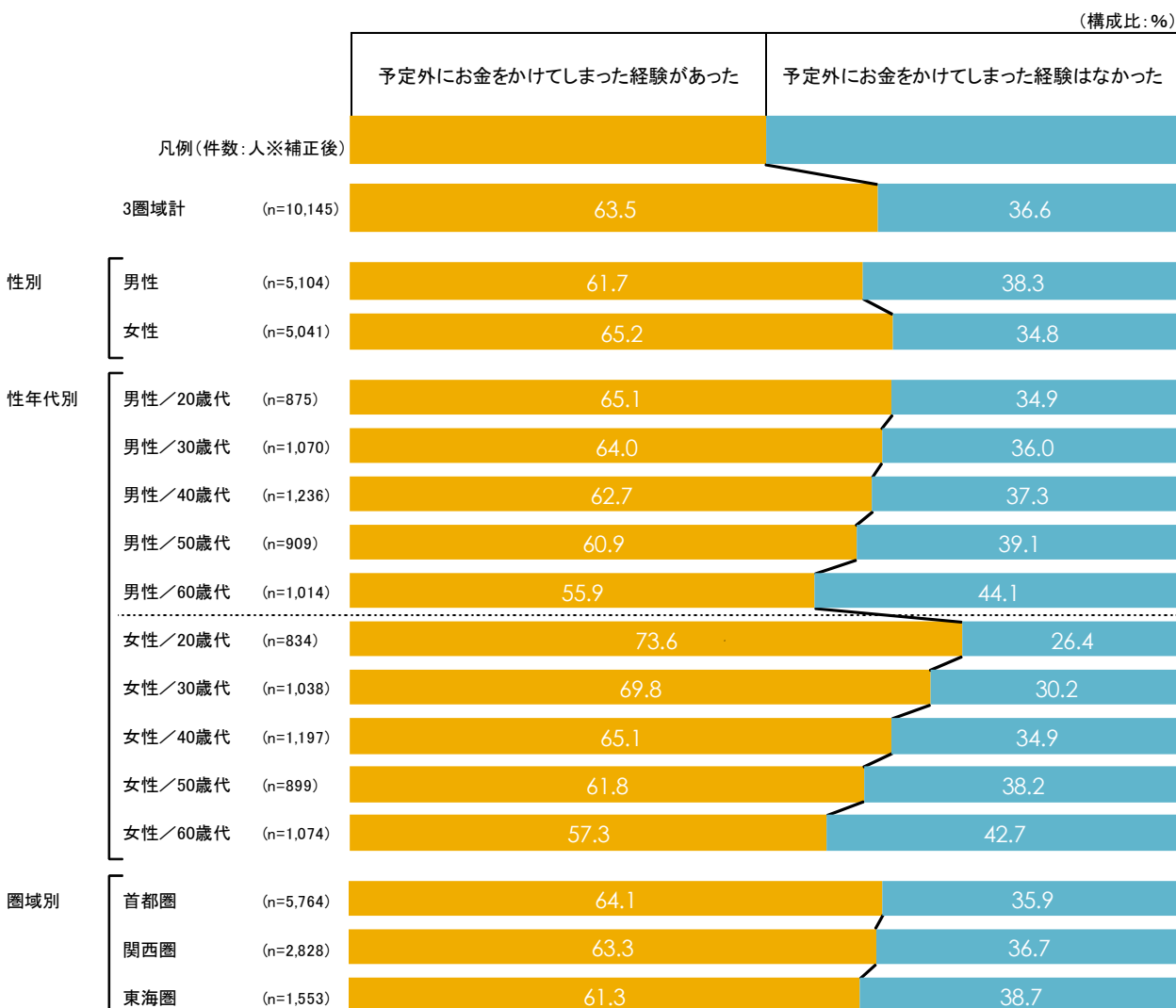


1. 外食「予定外の出費」は女性で多く65%。若い世代ほど多く、圏域別では首都圏で多い

忘年会や新年会、特別な祝いごとなどの機会だけではなく、外食で会計時に「思ったより使ってしまった！」という経験を人は多いのでは。今回の調査ではそんな「予定外にお金をかけてしまった」外食の実態をアンケート調査した。

過去1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食経験の有無を聞いたところ、全体では過去1年に63.5%の人が「予定外にお金をかけてしまった」経験ありと回答。女性計では65.2%と男性計（61.7%）より多く、また、年代別では男女とも若い世代ほど「予定外にお金をかけてしまった」の割合が高く、最多は20代女性の73.6%であった。圏域別では首都圏で「予定外にお金をかけてしまった」割合が64.1%と他圏域より多めであった。

■この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食経験の有無(全体／単一回答)



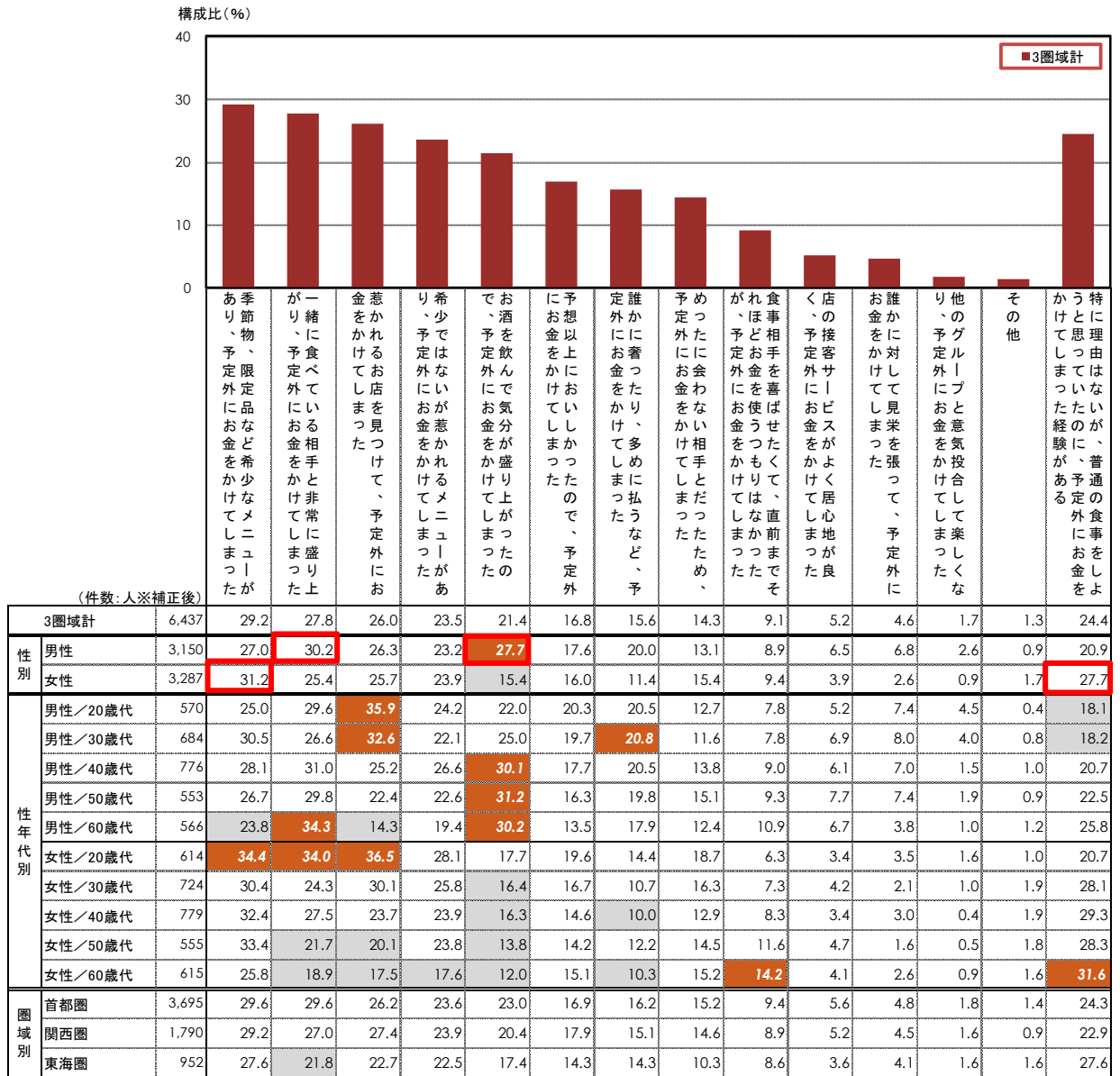
※「予定外にお金をかけてしまった経験があった」:この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食のきっかけでいずれかのきっかけを回答した人の割合

2. 男性に多いきっかけは「相手と盛り上がり」「お酒で」。女性は「希少なメニュー」

外食で予定外にお金をかけたきっかけについては、全体としては「季節物、限定品などの希少なメニューがあつて」が一番となっている。次いで「一緒に食べている相手と盛り上がり」「惹かれるお店を見つけて」が理由としてあがった。男性計は「一緒に食べている相手と盛り上がり」や「お酒を飲んで気分が盛り上がり」という理由が女性計より多く、逆に女性計では「季節物、限定品などの希少なメニューがあつて」や「特に理由なく」が男性計より多いなど、男女差が目立った。

■この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食のきっかけ

(この1年間に「予定外にお金をかけてしまった」外食の経験があつた人／複数回答)



太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

3圏域計より5ポイント以上低い項目

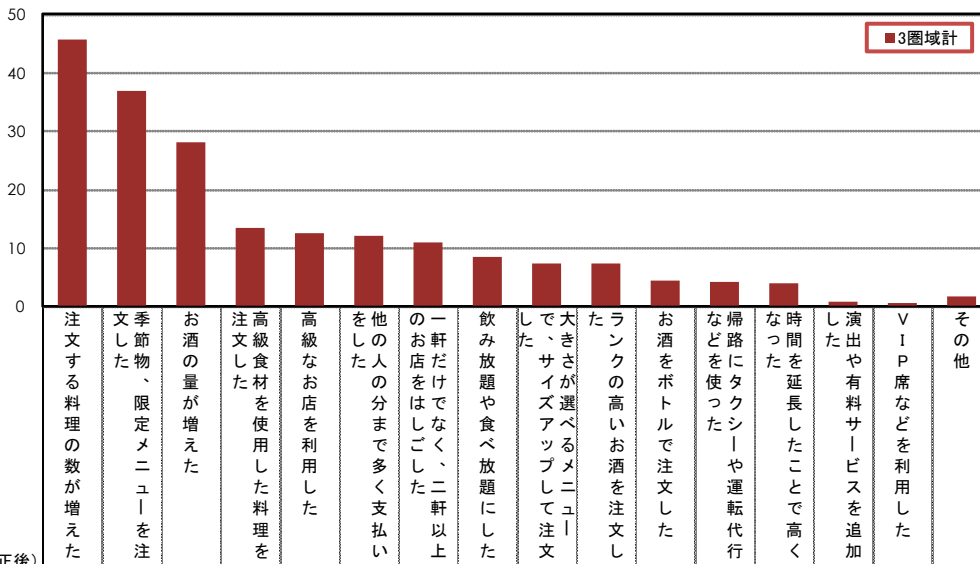
単位:構成比(%)

3. 予定外出費の内容、トップ3は「注文数」「季節メニュー・限定メニュー」「お酒の量」

外食で予定外にお金をかけてしまった内容では、1位は「注文する料理の数」（45.6%）、2位は「季節メニュー・限定メニュー」（36.8%）、3位は「お酒の量」（28.0%）という結果であった。「二軒以上のはしご」（11.0%）や「帰路にタクシーや運転代行」（4.1%）は数値としてはそれほど目立たなかった。20代計では「飲み放題や食べ放題にした」（15.0%）が他世代より非常に多かった。

■この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食の費用が高くなった要因 （この1年間に「予定外にお金をかけてしまった」外食の経験があった人／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

		3圏域計	6,437	45.6	36.8	28.0	13.4	12.6	12.0	11.0	8.4	7.4	7.3	4.5	4.1	3.9	0.7	0.6	1.7
性別	男性	3,150	44.3	33.2	34.5	14.3	12.6	14.3	12.9	8.7	8.5	9.9	6.4	5.1	5.5	1.0	1.1	1.3	
	女性	3,287	47.0	40.3	21.9	12.4	12.5	9.8	9.2	8.2	6.2	4.8	2.7	3.1	2.4	0.3	0.2	2.2	
年代別	20歳代	1,184	43.9	36.9	24.9	8.9	13.5	12.1	14.9	15.0	12.1	6.2	3.1	2.6	4.4	1.5	1.0	1.4	
	30歳代	1,408	47.0	34.4	26.8	12.6	14.8	10.9	9.8	7.4	9.3	7.0	3.8	4.2	4.0	0.7	0.6	1.7	
	40歳代	1,555	46.8	38.0	30.8	12.8	12.1	12.2	11.2	7.9	8.1	7.5	4.1	4.5	4.5	0.5	0.4	1.8	
	50歳代	1,108	42.5	38.0	30.0	16.5	10.6	12.9	10.4	7.2	3.7	8.6	5.5	4.4	3.6	0.4	0.6	1.6	
	60歳代	1,182	47.2	36.9	27.2	16.6	11.5	12.1	9.0	5.0	2.8	7.2	6.2	4.5	3.0	0.2	0.5	2.0	
性年代別	男性/20歳代	570	42.5	31.5	25.6	9.3	12.9	13.2	13.0	15.4	15.2	6.9	3.9	3.1	4.7	2.3	2.1	0.8	
	男性/30歳代	684	43.2	30.5	32.4	13.9	15.0	14.3	10.6	6.7	10.7	10.1	5.3	4.7	6.0	1.4	1.0	1.3	
	男性/40歳代	776	44.9	35.1	36.8	14.7	13.0	15.0	13.4	8.8	9.2	10.3	5.3	6.3	7.1	0.7	0.7	1.3	
	男性/50歳代	553	43.7	32.4	39.8	16.7	10.3	15.3	14.3	7.4	3.9	12.0	8.3	5.4	5.0	0.4	0.9	1.2	
	男性/60歳代	566	47.1	36.2	37.6	17.2	11.4	13.4	13.6	5.6	2.9	10.1	9.9	5.4	4.3	0.2	0.9	1.5	
	女性/20歳代	614	45.1	41.8	24.3	8.6	14.1	11.0	16.6	14.7	9.2	5.6	2.4	2.1	4.1	0.8	-	1.9	
	女性/30歳代	724	50.5	38.2	21.5	11.4	14.6	7.6	9.0	8.1	8.0	3.9	2.4	3.7	2.1	0.1	0.2	2.0	
	女性/40歳代	779	48.8	40.8	24.8	10.9	11.1	9.4	9.0	6.9	7.0	4.8	3.0	2.7	1.9	0.2	0.1	2.3	
	女性/50歳代	555	41.4	43.6	20.3	16.2	10.9	10.4	6.5	7.1	3.5	5.2	2.7	3.4	2.3	0.4	0.4	1.9	
	女性/60歳代	615	47.4	37.5	17.7	16.1	11.6	11.0	4.7	4.4	2.7	4.5	2.8	3.6	1.8	0.2	0.2	2.5	

単位:構成比(%)

赤字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

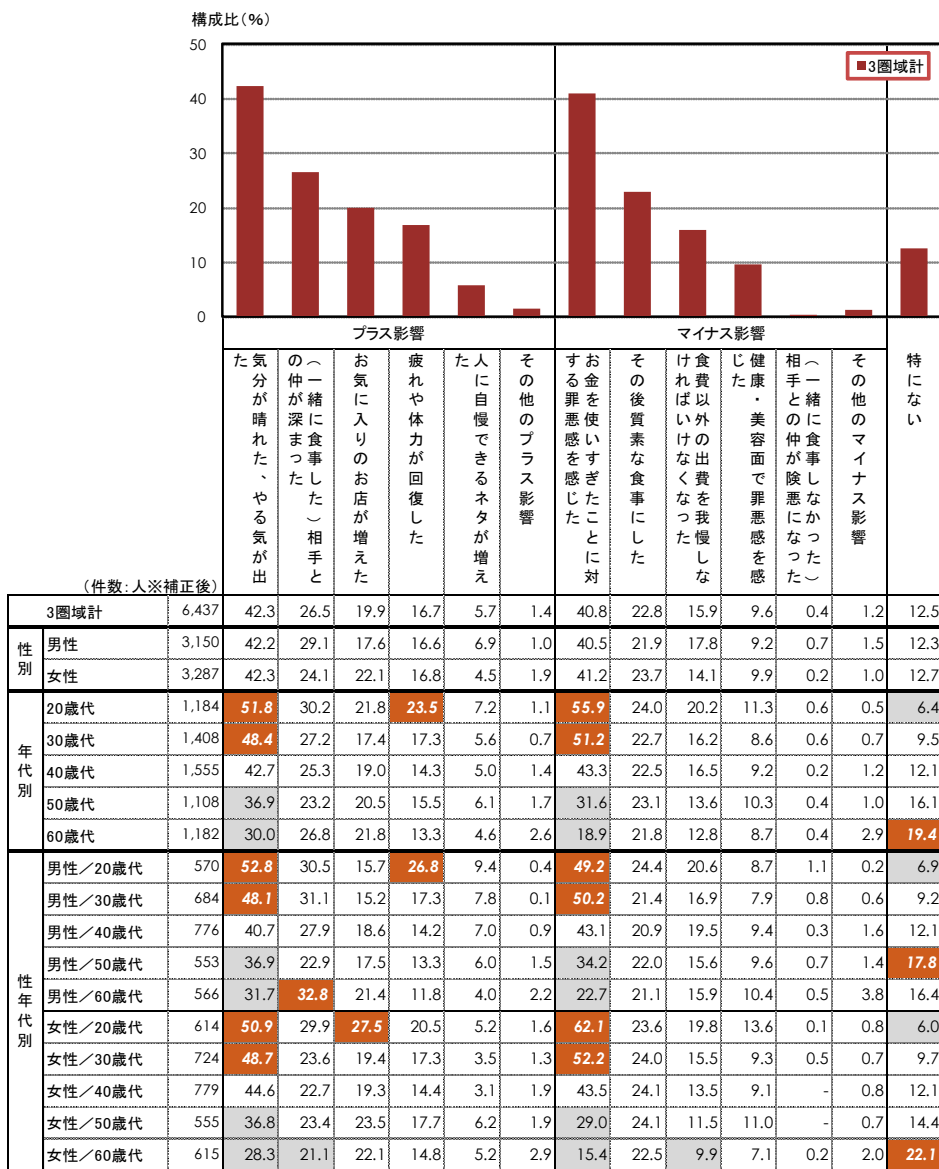
灰色 3圏域計より5ポイント以上低い項目

4. 出費の功罪に世代差。若年層ほどプラス影響・マイナス影響とも数値が大きい

外食での予定外の出費について、プラス影響とマイナス影響を聞いたところ、プラス影響としては「気分が晴れた、やる気が出た」が最多で42.3%。一方、マイナス影響では「お金を使いすぎたことに対する罪悪感」が40.8%と、最も多かった。どちらも心理的影響がトップ項目であった。この2項目について世代別に見ると、若年層ほどプラス影響・マイナス影響ともスコアが大きく、逆にシニア層に進むにつれスコアが小さくなっており、世代間の受け止め方の差が大きかった。若年層ほど、プラス・マイナスそれぞれの影響を敏感に感じ取っているようだ。

■この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食による影響

(この1年間に「予定外にお金をかけてしまった」外食の経験があった人／複数回答)



太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

3圏域計より5ポイント以上低い項目

単位:構成比(%)

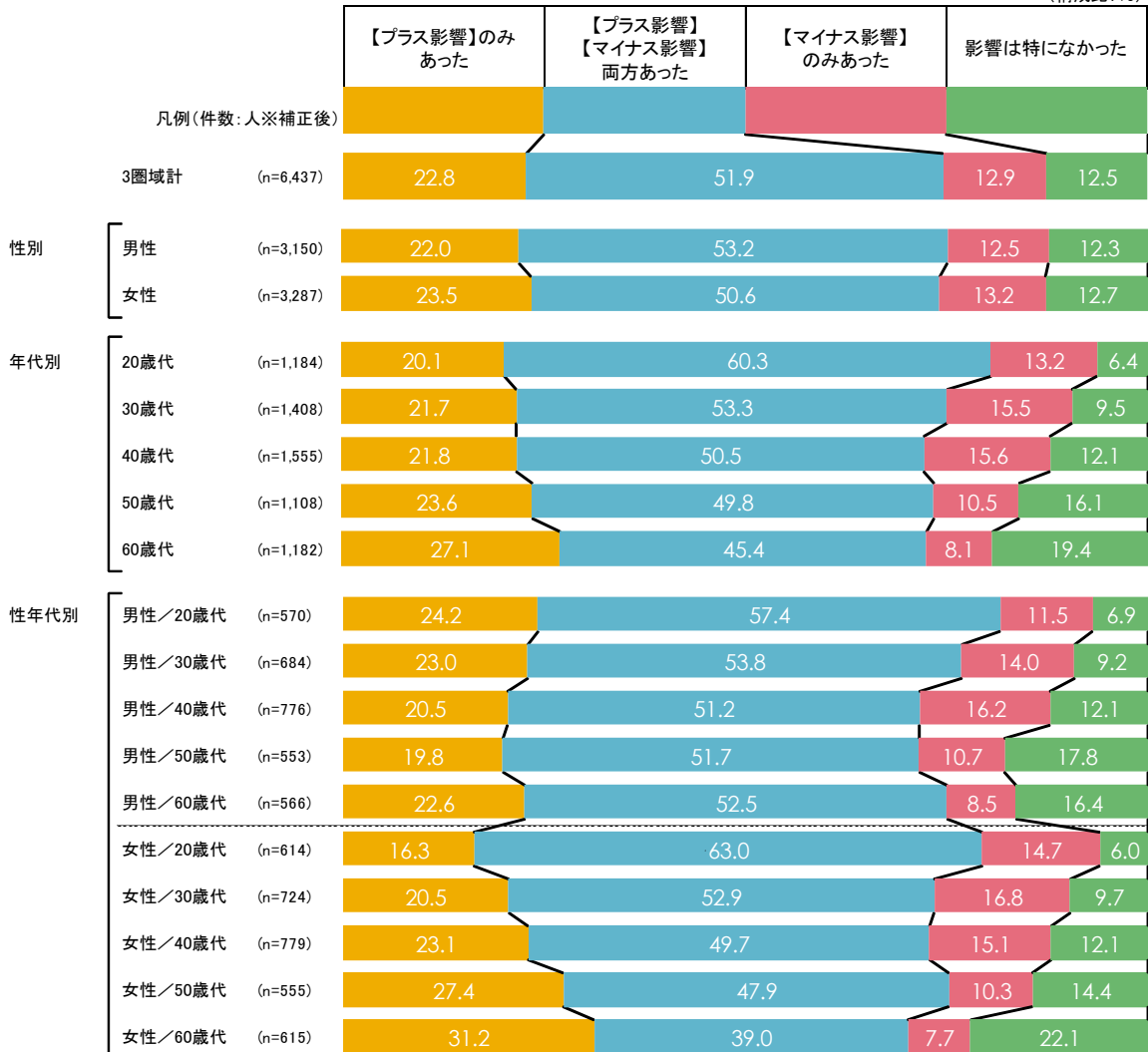
5. 若年層ほどプラスとマイナス両方の影響大。女性60代は過半数がマイナス影響なしと回答

外食で予定外にお金をかけた影響をまとめてみると、世代が若いほどプラス・マイナス両方の影響を感じたケースが多く、世代が上がるほど、どちらの影響もなかったと回答するケースが多かった。特に女性60代では、「プラス影響のみあった」が31.2%と多く、「影響は特になかった」(22.1%)を加えると、過半数がマイナス影響がないと評価している。類似の傾向を示している女性50代とあわせた女性シニア層は、今後の「衝動食い」を引っ張る存在として注目されそうだ。モノ消費からコト消費に移行しているといわれる消費社会だが、内需を生み出す「衝動買い」ならぬ「衝動食い」に注目したい。

■この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食による影響の有無

(この1年間に「予定外にお金をかけてしまった」外食の経験があった人／単一回答)

(構成比: %)



※【プラス影響】のみあった:この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食による影響で【プラス影響】のみを回答した人の割合

※【プラス影響】【マイナス影響】両方あった:この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食による影響で【プラス影響】【マイナス影響】の両方を回答した人の割合

※【マイナス影響】のみあった:この1年間の「予定外にお金をかけてしまった」外食による影響で【マイナス影響】のみを回答した人の割合